

# 令和2年度【紫波町商工会】経営発達支援事業 評価

<評価基準> A:目標を達成することができた(100%以上)  
 B:目標を概ね達成することができた(80~99%)  
 C:目標を半分程度しか達成することができなかった(30~79%)  
 D:目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)  
 E:未実施(0%)

## I. 経営発達支援事業の内容

事業	項目	2年度	実績	2年度評価		29年度		30年度		元年度		2年度	3年度
		目標		実績	評価	実績	評価	実績	評価	実績	評価	目標	目標
1. 地域の経済動向調査【指針③】	(1)関係機関・専門家等を活用した調査及び分析	6回	町との情報交換会や近隣失中町との懇談会等に参加し、地域や近隣の経済動向(特にもコロナ関係)の情報収集を図った。	9回	A	5回	B	8回	A	9回	A	6回	6回
	(2)刊行物等による調査及び分析	12回	職員間で刊行物等を閲覧し、事業計画の策定に必要な資料等を調査・分析を行っている。	12回	A	9回	C	11回	A	12回	A	12回	12回
	(3)小規模企業景気動向調査の活用	4回 30事業所	新型コロナウイルス感染症の影響調査を毎月行っている。	12回 120事業所	A	3回 30事業所	C	3回 15事業所	C	4回 58事業所	A	4回 30事業所	4回 30事業所
	(4)小規模事業者への情報提供と活用	4回	商工会報による情報提供を行っている。14回発行し、HPIにも掲載した。	14回	A	0回	E	3回	C	5回	A	4回	4回
2. 経営状況の分析【指針①】	(1)巡回指導等による経営状況の分析	40件	巡回指導等において、各種助成金等の周知を行い、事業計画策定につなげている。ものづくり補助金3件、持続化補助金36件、経営力向上計画2件、経営革新2件を支援。また、経営状況を分析し、マル経融資の斡旋も行った。	70件	A	38件	B	34件	B	47件	A	40件	40件
	(2)ネットde記帳を活用した経営状況の分析	20件	ネットde記帳を活用し、財務分析を実施している。	20件	A	20件	A	20件	A	20件	A	20件	20件
	(3)小規模事業者経営改善資金等を活用した経営状況の分析	20件	金融相談において、売上・原価率・自己資本比率・返済力について、資料の作成を行っている。	27件	A	20件	A	18件	B	20件	A	20件	20件
	(4)専門家を活用した経営状況の分析	12回	専門家による個別相談の開催を行い、個社の事業計画策定に向けた支援に活用している。	14回	A	6回	C	7回	C	13回	A	12回	12回
3. 事業計画策定支援【指針②】	(1)専門家等を活用した事業計画策定説明会の開催	12回 36人	専門家等を活用した事業計画策定説明会等の開催や専門家派遣、個別指導を行い、事業計画策定の必要性等について説明や策定の指導を行った。	16回 69人	A	8回 32人	C	9回 29人	C	16回 45人	A	12回 36人	12回 36人
	(2)事業計画策定までのアプローチ	30件	窓口指導や巡回指導時に、自社の事業概要や強みや弱み、市場や個社に対するニーズなど内部環境・外部環境について説明を行い、個社の持続的発展のための事業計画策定につなげている。	43件	A	30件	A	34件	A	37件	A	30件	30件
	(3)事業承継・創業希望者に向けた事業計画策定支援	2件	いわて起業家育成資金を活用した創業支援や創業したばかりの事業者への持続化補助金の申請支援等を行った。	3件	A	1件	C	1件	C	17件	A	2件	2件
	(4)小規模事業者経営発達支援資金等の活用	15件	マル経融資を活用して事業計画推進の支援を行った。	27件	A	6件	C	5件	C	19件	A	15件	15件
4. 事業計画策定後の実施支援【指針②】	(1)事業計画策定後の進捗管理	140回 29回	事業計画策定後の巡回を140回以上行い、事業計画策定43件のフォローを行った。	140回以上 43回	A	120回以上 23回以上	A	120回以上 23回以上	A	120回以上 26回	A	140回 29回	140回 29回
	(2)金融・創業支援後のフォローアップ	10件 2回20人	資金計画のフォローとしてマル経融資の斡旋を26件を行った。また、事業承継者や創業者向けに財務諸表セミナーを開催した。	27件 1回12人	B	7件 0回0人	C	4件 0回0人	D	20件 1回7人	B	10件 2回20人	10件 3回20人
5. 需要動向調査【指針③】	(1)バイヤー(専門店・百貨店)からの需要動向調査	30件 2回	仙台市で行われたビジネスマッチ東北にてバイヤー等から聞き取り調査を行った。	38件 1回	B	0件 1回	D	6件 0回	D	62件 1回	B	30件 2回	30件 2回
	(2)物産展等でのアンケート調査による需要動向調査	1,000人 2回	紫波町グルメマップスタンプラリーによる消費者動向調査を行い、171件の回答を得た。調査結果はマップ掲載店舗に通知し、フィードバックすることで今後の経営に役立てていただく。	171人 1回	C	678人 2回	C	586人 2回	C	122人 1回	C	1,000人 2回	1,000人 2回
	(3)関係機関と連携した需要動向調査	2回	ビジネスマッチ東北でのバイヤーからの聞き取り調査において、盛岡信用金庫と連携し調査を行った。また、グルメマップによる消費者動向調査も(同)地域計画と連携し行った。	2回	A	1回	C	1回	C	2回	A	2回	2回
	(4)関係機関が発行する機関誌における需要動向調査	4回	関係機関が発行する機関誌等を職員間で閲覧し、販路拡大や事業計画の策定に必要な資料等を調査・分析を行い、個社支援の際に提供している。	4回	A	0回	E	3回	C	4回	A	4回	4回
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業【指針④】	(1)展示会・商談会への事前研修等による支援	2回 1件	商談シートの作成支援とビジネスマッチ東北の事前打合せを行った。また、ビジネスマッチ東北において1件の商談が成立した。	2回 1件	A	1回 1件	C	1回 0件	D	2回 2件	A	2回 1件	2回 1件
	(2)地域特産品を活用した個社の活動支援事業	2回	コロナ禍により、物産展への参加はできなかったが、ビジネスマッチ東北に4社が出展。加えてwebによる出展も1件支援した。	1回	C	2回	A	2回	A	2回	A	2回	2回
	(3)関係機関との連携による個社の活動支援事業	2回	ビジネスマッチ東北において経費負担や人員による支援等の出展支援を行った。	1回	C	2回	A	2回	A	2回	A	2回	2回
	(4)展示会・商談会等の参加者へのITを活用した販路開拓	2回 (20件)	補助金活用で自社HPによるネット販売の推奨を3件とビジネスマッチ東北のweb出展支援を行った。	4回 (0件)	C	0回 (0件)	E	1回 (0件)	C	1回 (0件)	C	2回 (20件)	2回 (20件)

# 令和2年度【紫波町商工会】経営発達支援事業 評価

<評価基準> A: 目標を達成することができた(100%以上)  
 B: 目標を概ね達成することができた(80~99%)  
 C: 目標を半分程度しか達成することができなかった(30~79%)  
 D: 目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)  
 E: 未実施(0%)

## II. 地域経済の活性化に資する取組

事業	項目	2年度	実績	2年度評価		29年度		30年度		元年度		2年度	3年度
		目標		実績	評価	実績	評価	実績	評価	実績	評価	目標	目標
1. 地域経済活性化事業	(1) 紫波町ブランドの確立と商品開発	1回	持続化補助金や経営革新を活用し各社の特産品開発を支援した。	3回	A	0回	E	0回	C	4回	A	1回	1回
	(2) 中心市街地活性化事業を中心とする地域活性化対策	6回	中心市街地活性化検討会を開催し、紫波町の活性化を図るために「グルメマップ」を作成した。アンケート付きスタンプラリー企画やフォトコンテスト等の企画を充実させた。部数も昨年度より2,000部多い8,000部発行した。矢巾町や石鳥谷町にも設置し、町外の方にも普及している。	5回	B	3回	C	4回	B	4回	B	6回	6回
	(3) 活性化イベントの見直しと充実	9回	新型コロナウイルス感染症の影響でイベントが減少したものの、「紫波の酒と肴」、「サプライズ花火」、「びっぴり市リボン」、「元祖びっぴり市」等主催イベントを開催。青年部主催の「親子ミニ四駆大会」や、さんさん朝市への女性部出店、あずまねトレイルへの協力もしている。	8回	B	7回	C	6回	C	11回	A	9回	9回

## III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

事業	項目	2年度	実績	2年度 評価		29年度		30年度		元年度		2年度	3年度	
		目標		実績	評価	実績	評価	実績	評価	実績	評価	目標	目標	
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換	(1) 支援機関・金融機関との連携及び情報の交換	10人 4回	研修会や懇談会に積極的に参加し、得られた情報については、職員間で共有し、小規模事業者の個別指導の際に活用している。また、金融懇談会や中小企業振興資金利子補給会議での金融機関との情報交換を行った。	25人 2回	B	17人 4回	A	22人 2回	C	25人 2回	B	10人 4回	10人 4回	
	(2) 専門家等との連携及び情報の交換	2回	ビジネスマッチ東北において事前打合せ会、当日の商談会と連携し情報交換を図りながら実施した。また、地域計画熊谷氏と連携し次期の経営発達支援計画の策定を行っている。	2回	A	2回	A	4回	A	2回	A	2回	2回	
	(3) 『紫波町経営力向上会議』の設置	2回	『経営発達支援計画事業評価委員会』において、専門家、金融機関の支援ノウハウ、支援の現状等について情報交換を行った。	2回	A	2回	A	2回	A	2回	A	2回	2回	
2. 経営指導員等の資質向上等	(1) 職種別の資質向上	-	職員を対象に、岩手県商工会連合会の職員向け研修会、中小企業基盤整備機構の研修等への参加し、資質向上に取り組んでいる。	-	A	-	A	-	A	-	A	-	-	
	(2) 職員間での情報・知識の共有と蓄積	随時	毎朝職員間でミーティングを行い、本日の業務等を話し合い、お互いの指導・助言内容、情報などを共有し、会員支援に役立てている。	随時	A	随時	C	随時	随時	随時	A	随時	随時	
3. 事業の評価及び見直しをするための仕組み	(1) 事務局での進捗状況の確認及び事業内容の検証	4回	経営発達支援計画の内容について、各担当者により、現在の進捗状況の確認及び事業内容の検証を行った。	4回	A	4回	A	1回	D	4回	A	4回	4回	
	(2) 三役会での進捗状況の確認及び事業内容の検証	12回		12回	A	9回	C	3回	D	12回	A	12回	12回	
	(3) 理事会での評価・見直し方針の決定	4回		3回	C	3回	C	1回	D	4回	A	4回	4回	
	(4) 『紫波町商工会事業評価委員会』での評価及び検証	1回		2回	A	2回	A	3回	A	1回	A	1回	1回	
	(5) 会員・町への報告	1回		-	-	-	-	-	-	-	-	-	1回	1回
	(6) 事業結果の公表	7回		次年度の総会での報告、ホームページでの公表を行う予定である。	-	-	-	-	-	-	-	-	7回	7回

10

36

令和2年度総合評価	29年度総合評価	30年度総合評価	元年度総合評価
B	C	C	B